

おれんげニュース

No.237

2009年12月号

武雄の蓬萊山

★集会・委員会・行事関係のお知らせ★

★山行の一步は会合から★

12月

1月

| | | | | | | |
|--------|--------|-------------|--------|--------|-------------|--------|
| 運営委員会 | 8日(火) | 19:30~22:00 | 西諫早公民館 | 12日(火) | 19:30~22:00 | 西諫早公民館 |
| ひまわり集会 | 4日(金) | 13:30~15:30 | 西諫早公民館 | 8日(金) | 13:30~15:30 | 西諫早公民館 |
| 全体集会 | 22日(火) | 19:00~22:00 | 西諫早公民館 | 26日(火) | 19:00~22:00 | 西諫早公民館 |

★12/5(土)オレンジハイキングクラブ 30周年記念行事



七ッ岳遠望



笹岳山頂



父ヶ岳山頂からの眺望





12月の山行計画

| 部 | ひまわり 自然保護部合同 | 技術研修部 | 山行部 |
|-------------|----------------------|---|--------------------------|
| 月 日 | 9日(水) | 12日(土)～13日(日) | 20日(日) |
| 山 名 (行事) | 小浜～唐比 | 津波戸山 中山仙境 一泊2日 | 雲仙縦走(妙見・国見・ 普賢岳) 納山登山 |
| 地 図 | | 立石・豊後高田 | 島原・雲仙 |
| 集合出発 | 島鉄バス(県営バスターミナル 8:20) | JR 諫早駅裏ロータリー 6:20 | JR 諫早駅裏ロータリー 7:20 |
| | 口ノ津行き | JR 西諫早駅前 6:30 | J R 西諫早駅 7:30 |
| 帰着時間 | 諫早駅着 17:00 | 諫早駅 19:00 頃 | 17:30 頃 |
| 歩行時間 | 5時間程度 | | 5時間程度 |
| 難 易 度 | 初心者向き | 初心者向き | 一般向き |
| 交通手段 | バス | マイクロバス | マイクロバス |
| 宿泊施設 | 日帰り | あかね荘 | 日帰り |
| 温 泉 | 唐比温泉 | 有り | 温泉有り |
| 参 加 費 | 運賃実費 | 15,000 円 | 3,000 円 |
| 申込期限 | 12/8(木)まで | 宿泊予約の関係上出来るだけ早く申し込んで下さい | 定員になり次第〆切 |
| 集 約 | 水江 | 米田 | 松園 |
| 備 考 | 昨年と反対コースにしてみました。 | 深山幽谷の味わい深い山旅 津波戸山は、奇岩怪石の山で、その様は名勝耶馬溪に匹敵するほどの迫力。眺望もみごとで、スリルもある。 | 今年一年を地元の山で締めくくりましょう。 |
| 感想提出 | 12/15(火)まで | 12/22(火)まで | 1/5(火)まで |



1月の山行計画

| 部 | 初日の出参拝 | 山行部 | 技術研修部 |
|------------|--------------------------|---------------------------------|--|
| 月 日 | 1日(金) | 10日(日) | 21日(木) |
| 山名 (行事) | 真崎城址 | 多良岳金泉寺参拝登山 | 湾奥三山を巡る 地図と磁石の習熟 |
| 地 図 | 諫早 | 多良岳 | 諫早・大村・長崎東北部 ・諫早南部 |
| 集合出発 | ふれあい会館 | J R 諫早駅裏 7:20 | J R 西諫早駅 9:00 |
| | 6時30分集合 | J R 西諫早駅前 7:30 | |
| 帰着時間 | 8時頃解散 | 17:30頃 | 15:00 解散 |
| 歩行時間 | 20分程度 | 5時間程度 | すべてマイカーで移動 |
| 難 易 度 | 初心者 | 一般向き | |
| 交通手段 | 徒歩 | マイクロバス | マイカー |
| 宿泊施設 | / | / | / |
| 温 泉 | / | 有り(平谷温泉) | / |
| 参加費 | / | 2,000円 | 車代 |
| 申込期限 | 必要ありません | 12月22日(全体集会) | 1月19日(火)まで |
| 集 約 | / | 松園 | 佐原 |
| | / | | |
| 備 考 | 参加者は御神酒・おつまみ・おせち等ご持参下さい。 | コース 広域林道～多良岳・金泉寺 ～五家原岳～黒木 | 用意するもの 直線定規・シルバーコンパス・鉛筆・マーカーペン・芋煮会? パーナー・コップル・その他 |
| 感想提出 | 1/10(日)まで | 1/19(火)まで | 1/30(土)まで |

技術研修部から

‘09年12月

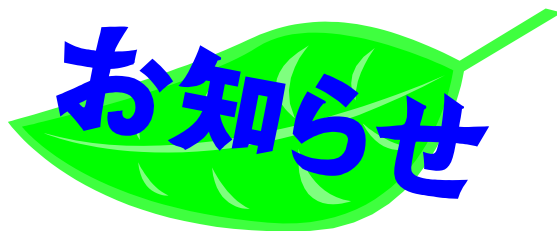
セルフレスキュー 19日(土)

岩登り 10日(木)・20日(日)

‘10年1月

セルフレスキュー 30日(土)

岩登り 未定



県連写真展実行委員会から

作品展示場所が長崎市浜町「石丸文行堂4階ギャラリー」に変更になりました。

展示期間 3月1日(月)～3月7日(日)まで

応募する方は12月末まで川原までご連絡下さい。

新会員紹介……会員一同歓迎いたします



11月入会 小島 みち子 さん 諫早市在住

本会員として長い間活躍されていましたが、家庭の事情でやむなく1年ほど退会されておりました。このたびめでたく復帰です。会員の皆さん、以前同様よろしくお願い致します。

瀬戸崎 義之 さん 諫早市在住

およそ50年近く山に親しみ、日本各地の山に登って来られた方ですが、年齢70近くになったのを機会に単独登山を止め、より安全な登山を心がけようと本会員となりました。富永さんのお兄さんや江崎さんのお知り合いです。

皆さんよろしくお願い致します。

馬場 邦子 さん 諫早市在住

以前中央の方に住んでおられた折り、八ヶ岳を始め信州方面の山々に登った経験をお持ちで、山が大好きな方ですが、現在は残念なことに体調が芳しくないとのこと。会員となり尾瀬に行けるようになるのを目標にがんばりたい、ということです。

米田さんのお友達です。皆さんよろしく！



おすすめのほん

『イチロー式集中力』 インデックス社

児玉光雄著



市民ハイキング教室 報告

10月の7, 14, 21そして11月8日の卒業山行と恒例の市民ハイキング教室を開催しました。『全ての登山愛好者に責任を持つ』との立場に立つ労山として、講師を始め多くの方々の協力のおかげで成功の内に終わることが出来ました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

30周年に相応しい教室を目指して各専門部ごとに取り組み、その中で中尾さん、中野さん、松園さん、山下さんと新しい講師が次々と誕生し、特に鎗水さんのパソコン映像技術を活用した中野さんの説明は、次回に繋がるヒントを与えて頂きました。



準備にかなりの時間を費やされたと思いますが、高く評価されるものと思います。

しかし、中にはこの教室の意義、目的の理解が十分でなく準備不足の所が2, 3, あったのが残念でした。

下記の点を部内でもう一度検討して下さい

- 1, 登山愛好者に知識、技術を身に付ける機会を提供する。
- 2, 自立した登山者を目指し、自ら学習に努める。
- 3, 会員拡大に取り組み、安全登山を進める。

この教室は、【文化、スポーツとしての登山、ハイキングを広めていく】とする私達の目的を考えると、これからも継続していく事が大切だと感じました。

(組織部 富永富麿)



9月・10月の山行報告

10月24日(土)～25日(日)

五島 笹嶽(390m)・七ツ岳(431m)・父ヶ岳(461m)

〈参加者〉岩田 川原 小山 井星 佐原 林 田村 中野 林田 山口い 松園 田中し
國分 (外)橋口 (外)山本 15名

〈行程〉

10/24(土) 長崎港フェリー 8:00～福江港着 11:30～笹嶽登山口着 12:20(昼食)登山口発 13:10
→笹嶽山頂着 14:05→白岩発 14:25→登山口着 15:25～浜田海水浴場～魚津ヶ崎公園～白良ヶ浜万葉公園～魚藍観音～高浜ビーチ～頓泊海水浴場～荒川温泉(竹中旅館)着 17:40

10/25(日) 旅館発 6:50～七つ岳登山口着 7:20 発 7:30→1 峰着 8:25→2 峰 8:29→3 峰 8:42
→4 峰 8:49 発 8:58→5 峰 9:15→6 峰 9:22→7 峰 9:26→七嶽神社分岐着 9:45→父ヶ岳山
頂 11:20-発 12:35→分岐 14:05→七嶽神社登山口着 14:25～荒川温泉～福江港着 16:10-発
16:40～フェリー長崎港着 20:10

〈感想〉



その昔、中国の芸術文化を取得するために行き来していた遣唐使船があった。その船が中国に向けての最後の寄港地が福江であり、帰途にあつては最初の寄港地でもあった。又、キリスト教宣教師達をいち早く受け入れたのもこの五島の島々でもある。

異文化を吸収し融合して共存していった島でもある。そんなロマンを感じるにはあわただしい二日間だった。

一日目

長崎港を定刻の出港。

外海に出るとやはり揺れた。気分が悪くなられた方もいらした。ひたすら寝る事とする。

福江港にて岩田氏と合流し早速、岩田号を先頭にレンタカー二台とで笹嶽登山を目指す。

笹嶽は福江港より近い所にある山で、フェリーからも眺められた姿の良い山である。

昼食後出発。自然歩道みたいで歩きやすい。

大きなシダの葉っぱが沢山あった。

道は整備されていてジグザグに登ってゆく。

到着した山頂では、ツワブキの花が迎えてくれた。展望が得られない山なので早々に下山とし、山頂にほど近い白岩にてしばし休憩後下山とした。

荒川温泉に向けて出発。途中、岩田氏の案内で海の青の色の素晴らしさを十分に堪能することが出来た。最後に明日登る予定の七ツ岳の雄姿を眺めて気持ちを奮い立たせて竹中旅館に到着。



二日目

車を七嶽神社登山口に移動。岩田氏の友人の協力があつての山行となる。

今日は七ツ岳の7峰と父ヶ岳に登る。しばらくは自然林の道を歩く。

山頂が近くなって露石が現れてきた。慎重に歩を進める。

一峰と四峰だけに山頂スペースがわずかにあり外は縦走路への通過点だった。

四峰からは360度の展望で、はるかに父ヶ岳も眺められて姿の良い山である。





父ヶ岳へは目印の赤いテープもあり、道を迷うこともなく歩きやすい。

しかしほとんど樹林帯の中の道を展望がないまま、アップダウンを繰り返して山頂迄となる為、気分的にこたえる。

でも山頂からの眺めはすこぶる良かった。下山は七嶽神社から荒川温泉へ。福江港からのフェリーもかなり揺れた。

今回の福江の山は、標高としては低い山だが、そんな事を感じさせないくらい十分に登り応えのある山々であった。

(國分 記)

10月28日(水) 有喜ロマン小路歩き

<参加者> 平、松園、佐原、本秀、岩永さ、小島、森、中村か、(外 森) 計9名

<行 程> 8:40 諫早駅前バスターミナル出発～9:15 有喜港～9:25 有喜UK I ビーチ～有喜貝塚～揺楽橋～白髯神社～報恩塔～有喜の珍名波止～岩戸山碑～有喜監視所跡～有喜公民館前～上井手(等高線利用の水路)～メツトイ坂(12:20 昼食)～13:00 発～ジブの墓～クールダウン後 13:35 バス乗車 各自解散

<感 想>晴天に恵まれ、9名で有喜港へと向かった。初参加の夫を気遣いながら・・・。

有喜UK I ビーチはシーズンオフで人影もない。血染岩の説明を聞く。源平の合戦で落ち延びて来られた安徳天皇主従がこの地に上陸され、崖から馬が落ち血の色に海岸の石が染まったという話が残っている・・・歴史を感じる。

有喜貝塚も「長崎県の考古学発祥の地」とのこと。白髯神社の鳥居の文字が3種の漢字があるのもおもしろい。有喜地区の南側を東西に通っている、とんさん道も地域の人達に親しまれている。ジブの墓は分かりにくかった。こんな遠くまで、隠れキリシタンを追って処刑したなんてひどい時代だったのかと考えさせられた。

等高線を利用した2キロもの水路跡が今も残っていたり、工夫して暮らしを立てた人々のすごさを思う。・・・町を始めて訪れた人が多く、良い所ねとの声も聞こえた。

(森 記)



10月31日(土) 大船山(東尾根紅葉登山)

<参加者> 鎗水 中須賀 福岡 森田 松尾ト 中尾 兵庫 井星 田中し 岩永さ 田村
本秀 高橋 森 松園 山下 林田 山口い 中野 下釜 (小島) 酒井
会員 (21名) 会員外 (1名)

<行 程> 西諫早 6:10～金立SA 7:10～三叉路 10:10～ガラン台分岐 11:12
～鳥井窪 12:25(昼食)12:47 出発～大船山頂 14:10～14:45 出発～坊がつる 16:10
～大船林道終点 17:25～バス着 18:10～西諫早着 21:40

〈感想〉

参加者 22 名元気に出発。途中東の空から真赤な太陽がみえる。「いい天気恵まれてよかった。みんなが元気で登山出来ますように。」と手を合わせる。

登山口を 10:10 出発。紅葉はちらほら。

頂上に着く前、鳥井窪にて昼食。20 分後に歩き出す。頂上へは 14:10 着。早く下山しないと秋の日はつるべ落としと言うし、暗くなる可能性あり、そんな思いで下山。

大船林道を歩き、途中、近道をしようと川沿いを歩くことに。福岡さん、森田さんが案内して下さる。そのお陰でそれはそれは美しい紅葉が私達を待っていてくれた。



前後から「わあ、きれい〜」の聲が。暗くなる前、皆さんへのご褒美だったのかも。

ああ、日本に生まれて良かった、そう思わずにはいられなかった。途中、ヘッドランプが必要になり、後ろを見るとほたるのよう。

バスの光が見えた時には「ああよかった。怪我もなく皆さんが下山出来たんだ。」とほっとしました。時は午後 6 時 10 分。

車中はにぎやかに、

昼間の疲れもふっ飛びビールで「カンパ ーイ！」西諫早駅着は 9 時 40 分。皆さまお疲れさまでした。(酒井 記)



11月6日 猪見岳(589m)

〈参加者〉 小山 中尾 佐藤 佐原 江崎 森 松園 坂本 本秀 9名

〈行程〉 駅裏ロータリー8:00～林道歩き出発 9:10～猪見岳山頂 11:05 昼食 山頂出発 12:05～途中解散～13:00

〈感想〉

庭の金木犀の花が散り、街路樹の銀杏が色づき始め晩秋を思わせる今日、ロータリーより車 2 台で猪見岳へ。千綿より林道に入ったところで車を降り、ストレッチをして出発。

稲刈りの済んだ水田。整然と刈り込まれた茶畑。庭には赤いけいとうの花。

濃い紫色の野ボタンの花。少し山道に入ると黄色いツワブキの花。赤いカラスウリ等目で楽しみ、山柿を舌で味わっての山行。猪見岳は登山口より雑木林を 5 分程抜け 30 分で山頂へ。猪見岳の裾野は野焼きしたばかりで樹木はなく枯れ草と大岩がところどころにある。山頂は広く 360 度の展望が広がる。前方に大村湾、大野原演習場、郡岳、虚空蔵山、遠くには岩屋山と絶景です。デザート、コーヒー付きの昼食、楽しい雑談で時を忘れる程でした。一時間程で下山。途中、岩田邸を見学して帰宅。お疲れ様でした。

(本秀 記)

11月8日(日) 足立山(597,8m)・戸ノ上山(517,8m)

〈参加者〉 國分 松尾ト 鎗水 井星 山下
松園 中須賀 兵庫 林田 中尾
森マ 下釜 川原 佐原 林
15名

〈行程〉 7:10 JR西諫早駅出発～10:10
妙見神社登山口発～11:10 足立山山頂着
13:30 大台が原着～13:50 戸ノ上山着～
14:30 原町への分岐～14:50 原町の大台
が原登山口へ着(1班の行程)



〈感想〉

るんるん気分集合場所西諫早駅に着く。

するといきなり今日の感想文は「下釜」の名前が出る。これは大変！。先週の大船山では会計！今日は感想文！一番苦手な役割分担ばかりやってくる。

さて、今日は北九州のほぼ中央にそびえたつ足立山(597.8m)と戸ノ上山(517.8m)の二つの山に登るのだが最後までついていけるのだろうか？一つの山だけで体力消耗してしまいそう。

足立森林公園内、妙見神社の駐車場で準備体操。和気清麻呂の銅像を眺めながら登山口へと移動する。杉林のガレキ道を一步一步ゆっくりのぼる。20分位登った頃あたりから良く整備された自然歩道の登り道が続く。途中、川原さんの知り合いに偶然出会う。

1時間半位で足立山頂上に着く。山頂から北九州の市街地をながめることができる。

遠くに関門海峡も見えた。山は秋の紅葉もおわり、遠くに大台が原と戸ノ上山が見える。あの山まで行くのかと思ったら不安になった。早めの軽い昼食を半分食べ、記念撮影をして戸ノ上山めざして縦走する。アップダウンのはげしい道である。尾根道と長い下り坂をロープをつたいながら降りる。時おり心地よい風が吹き汗ばんだ体を冷やしてくれる。

大台が原に13:35に着く。今登ってきた足立山が遠くに見える。あの山からここまで良くこれたものだと自分なりに感心する。残りの昼食をしっかりと食べ1班の後を追う。

山頂近くかなっと思えるところで1班の4名と出会う。

「あと5分！ガンバレー！」の声に励まされて上がらない足をふるいたたせた。

山頂に着く。瀬戸内海、巖流島が良く見えた。あとは帰るだけ。

大台が原で待ってる男性2人と合流して下山。原町に待っててくれたバスに乗りこむ。

バスのなかでは、ゆっくり班の方達が買ってくださったビールで乾杯し楽しくおしゃべりしたり、歌ったりしながら家族の待つ我が家へ。皆さん、おつかれさまでした。

(下釜 記)

秋

秋



マユミと普賢岳



仁田峠から見た妙見の紅葉

噴煙のいつしか
秋の雲となる
峰紅葉
噴煙細く動かざる



秋の妙見



柳が水の紅



段原から坊がつるをのぞむ

